



(4) 鐵筋コンクリート管製作工事

(4) Concrete Pipes for the Meiji Shrine.



(5) 排水管埋設工事

(5) Laying the Pipe Line.

之を交換したるものである、此山緒ある土地に明治神宮外苑を建設せらるゝに當り、之が工事着手前の實況を示せるものである。

地下埋設物工事

外苑工事に先ち、之に必要なる水道、下水、電纜、瓦斯管等を全部地下に埋設するために之に關する工事を行つた。

排水系統としては全苑地を地勢上五區に分ち、各々鐵筋混凝土管を埋設し、苑地及路面の雨水を導きて西方澁谷川に放流せしめてゐる、排水管は内徑一尺、一尺五寸、二尺二寸五寸の四種の鐵筋コンクリート管であつて、各々直營を以て製作し、その管徑の選定は管徑と勾配より考へて排水系統の始點から放水口までの時間を略十分間を要するこし、之の間の極雨量十五ミリ即一時間の換算極量九十ミリを完全に排除し得るを目的とし管の強度計算は五百封度平方呎と定めた。

外人技師

神宮外苑の道路工事は東洋一の模範道路として施工に當つてゐる人は何れも研究的に慎重なる態度を執つてゐるが、其の中に二名の外人がある。一人はシユメーカーと云ふ大學出の青年技師、一人はボールスと云ふ道路工事専門の實地家である。

二人とも大森のホテルから四谷區信濃町の神宮造營局所管の外苑工務所へ通つてゐるが朝食は毎日現場で喰べて日本人労働者の始業迄にチヤンと出勤してゐる。仕事に熱心なる態度は二人とも變りないが、シユメーカー君は主として使用材料の試験の方に當り、ボーラス君は實地施工に當つてゐる。

我國の技術者も餘程真剣にやらないと、國際的に頭が擧らない云々とは神宮造營局藤井技師の談。



(6) ボックスカルバート築造工事 (6) Culvert Under Construction.

澁谷川放出口の流速を緩和して對岸の被害を少からしむるため暗渠、ボックスカルバートを築造した、之等の幹線の四千七百間に達してゐる。

排水幹線は道路の略中央に埋設し之に平行に道路の側溝に沿ふて排水側線として、内徑一尺の鐵

筋コンクリート管を埋設し、側溝中に所々に設けたる雨水栓を縫ふて人孔に於て幹線に連絡せしめてゐる。

之らの工事は北海道、沖繩縣をはじめ全國殘らずの青年團員の奉仕作業によりて全部完成してゐる